

20150727

2015年7月27日　日本テレビ 定例記者会見

《要旨》

<発表>

・「それいけ！アンパンマン」海外事業展開をスタート！

今年9月10日、海外初のアンパンマンオフィシャルショップ「ANPANMAN Official Shop Taipei（麵包超人館 台北）」をオープンさせる。フレーベル館、トムス・エンタテイメントと共に、アンパンマンショップを台湾で運営しようという新しいチャレンジ。台北の新光三越にてオープンし、バンダイナムコ台湾が運営する。

台湾ではアンパンマンの放送が人気を博していると聞いている。この新しい試みが台湾の子どもたち、お父さん、お母さんに受け入れられて発展することを期待している。

・「24時間テレビ 愛は地球を救う」

今年もチャリティグッズの販売が始まっている。応援していただきたい。

1. 視聴率動向と編成戦略

・視聴率データ

先週の視聴率も三冠王で、年間年度視聴率も好調に推移している。

・7月期ドラマに関して

7月期ドラマは全局の民放ドラマ中、「花咲舞が黙ってない」が今のところトップで2位が「デスノート」。ドラマの選別が厳しくなっており、他局ドラマも内容が良いにもかかわらず視聴率は一桁だったものが何本もあった。

そんな中、日本テレビの7月ドラマに関しては概ね手応えを感じている。

「花咲舞が黙ってない」は痛快で安心して見られるということと、恋愛の要素も今後入ってくるということなので期待している。

「デスノート」は結果的にHuluへの親和性もあり、放送の時間帯には普段なかなかドラマを見られない視聴者層がいるため、そういう意味でも非常に意義深い枠だと思っている。

「ど根性ガエル」はドラマの世界観をただのドタバタで終わらせず、ハートウォーミングな感じや切なさも交えているが、そのあたりのドラマの見方を視聴者に分かってもらえるようPRしていきたい。

・戦後70年特別番組等について

今年は戦後70年という節目の年なので、改めて戦争について振り返るべき機会だし、テレビにも大きな使命があると考えている。日本テレビはネットワーク各局も含め、さまざまな形で70年関連の特別番組を制作、放送する予定でいる。広島テレビの制作の特別番組「いしぶみ」は8月1日午後1時30分放送予定。また、8月4日に櫻井翔さんと池上彰さんによる、「教科書で学べない戦争」という特別番組を放送する。その他、さまざまな形で戦後70年の関連企画を行っている。NNNドキュメントの中でも今年の1月以降、日本テレビ及びネットワーク各局で制作した番組を放送している。

2. 営業状況

・放送収入

第1四半期の決算報告が後に控えているため詳細には触れられないが、6月の営業も視聴率の好調に支えられて、放送収入は順調に確保できた。スポットはほぼ前年並みかそれを上回る水準で推移し、まずはいい業績を残すことができたと思う。

・放送外収入

事業については「ルーヴル美術館展　日常を描く—風俗画にみるヨーロッパ絵画の真髄」が成功裏に終わった。映画は公開中の細田守監督の「バケモノの子」が、7月26日までの16日間で198万人の動員があり、かなり大きな成績が期待できると見ている。2012年に公開された細田監督の前作品「おおかみこどもの雨と雪」の1.5倍ぐらいのペースで推移しているので、少なくとも50億ぐらいの興行収入はいってほしい。アンパンマンも前作に比して動員数が増加している。そのほか舞台等々は全体的に順調である。

7月25日から汐留地域で「超☆汐留パラダイス！」を展開している。「ダウンタウンのガキの使いやあらへんで」の「絶対に笑ってはいけない汐留バスツアー」では、バスの運行も始まっており、昨年までの「汐博」とはひと味違ったイベントになっている。ぜひ皆さんにも一度試していただきたい。

3. その他

・「TVer」とドラマの低視聴率化に関して

今年10月に、テレビ番組を広告付無料動画配信するキャッチアップサービス「TVer」を在京民放5社で開設するが、それによって視聴率にマイナスに影響することはなく、むしろリアルタイム視聴への誘引だと考えている。ドラマ枠を不調にした原因は見逃し配信ではなく、個々人の時間の使い方の変化ではないかと思う。今までの経験則による予想よりことごとく低い視聴率が出るので意外ではあるが、明確な理由が分かれば逆に知りたいところではある。

見逃し配信はテレビのコンテンツ価値を高め、違法配信から守っていこうという観点で、自ら行っていくものである。日本テレビは早くから見逃し配信を実施しているし、他局でもだんだん増えてきているが、テレビ局が足並みをそろえることでこういった取り組みを浸透させたいという意図もある。また、録画しなくても無料で見られるサービスなので利用してほしい。

【出席者】

大久保好男 代表取締役 社長執行役員

小杉善信 取締役 専務執行役員

丸山公夫 取締役 専務執行役員

(了)